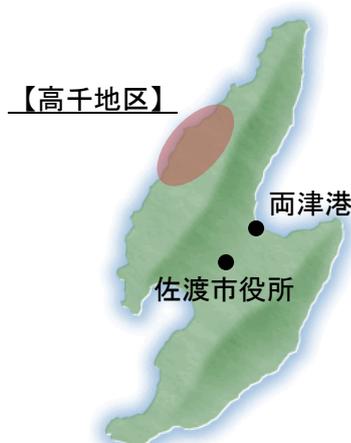


## (2) 高千地区（たかちもんて会）活動内容

### 1 地域等の概略



人口：1,145人 世帯数：544世帯 高齢化率：56.6%  
(平成30年4月1日現在)

高千地区は、両津港から車で約90分、島の西北部の中ほどに細長く帯状に位置し、12の集落（南片辺、北片辺、石花、後尾、北川内、北立島、入川、千本、高下、北田野浦、小野見、石名）が海と山に挟まれ、地形を活かした農業と漁業の両方を生業とする半農半漁の暮らしが営まれてきた。

一方、地区で生産される米や海産物は島内外で評価が高いものの、人口減少に伴い、農業・漁業の担い手不足が深刻なことから、①地域の1次産業を考えること、②地域の維持・継続を考えること、③地域で暮らすことに愛着と誇りを持ち、業種や世代を超えたコミュニティの形成を図ることを目的に「たかちもんて会」を立ち上げた。

### 2 現状と課題

過疎・少子高齢化による農林漁業の担い手不足、島外や島内中心部に仕事を求めて転出する若者が多く、地域の活力が低下している。

高千地区は、地域資源に富んでいることから、その資源を育み生産する担い手、地区内で稼げる仕組みを創り、活力を取り戻したい。そのため、地域資源を活用した特産品づくり、その販路の拡大、地区内での雇用の場の創出、担い手不足の解消をどのように進めたらよいか模索している。

### 3 地域の将来像

これからの90年（3世代）に受け継いでいける地域資源を活用した特産品づくりを地域とともに進め、地域への愛着を育み、地域の人が地域のモノを使って財源を生み、地域で稼ぎ、地域のために使うような循環のある地域づくりを目指す。

### 4 協力隊に求める活動内容

高千地区の現状と課題を共有し、たかちもんて会の活動に関わりながら、以下の地域活動を中心に進める。

- ① 地域資源を活用した特産品づくり
- ② 特産品の販路開拓、雇用の場の創出
- ③ 活動日数は、概ね15日～17日程度（変動あり）
- ④ 活動の拠点は、北田野浦集落

## 5 主な年間活動計画

1年目	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 地域を知るための資源や人の現状把握（高千地区ならではのレシピ本・動画の作成等）</li><li>・ 特産品の開発、販売していくための体制づくり</li><li>・ 特産品の試作品の開発（海産物、農産物）</li></ul>
2年目	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 試作品の開発と試験販売・検証</li><li>・ 商品化のための生産体制、施設等の検討</li></ul>
3年目	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 商品化のための生産体制、施設等の整備</li><li>・ 特産品の販売と販路開拓、情報発信</li><li>・ 継続的な組織づくり（法人化等）</li></ul>

## 6 地域の連携体制

たかちもんで会と地域が一体となり、隊員の地域活動をバックアップし、定期的な情報共有の場を設ける。

地域愛を育めるよう、地域の伝統芸能に多く触れてもらい、地域コミュニティに関わりやすいようにサポートする。

## 7 退任後の展望

任期中の地域活動を継続し、特産品の販売を中心とした地域に根ざした仕事場づくりを進めてほしい。

## 8 その他（生活環境など）

- ① 住居：北田野浦集落内
- ② ガソリンスタンド：高千漁協給油所／住居から車で約2分
- ③ スーパー：JA佐渡高千営業所／住居から車で約1分
- ④ ホームセンター・大型スーパー：ムサシ佐和田店ほか／住居から車で約50分
- ⑤ 郵便局：北田野浦郵便局／住居から徒歩約5分
- ⑥ 病院：高千診療所（休診日：水・日・祝）／住居から車で約7分
- ⑦ 総合病院：佐渡総合病院／住居から車で約60分
- ⑧ 地域の拠点施設：北田野浦活性化センター／住居から徒歩約1分
- ⑨ 保育園：たかち保育園／住居から車で約2分
- ⑩ 小学校：高千小学校／住居から車で約6分
- ⑪ 中学校：高千中学校／住居から車で約6分
- ⑫ 高校：佐渡高等学校／住居から車で約50分
- ⑬ 市役所：高千連絡所／住居から車で約2分
- ⑭ インターネット環境：ケーブルテレビ回線

\* 上記②～⑬は最寄りの施設等を例示したものです。

【住居①（受け入れ予定）の外観】



【住居②（受け入れ予定）の外観】



【高千漁港】



【北田野浦集落の町並み、田んぼ】



【北田野浦集落の海岸】



【北田野浦活性化センター】

